

第56回

コンチェルティーノ・ディ・キョウト

新井 覚 先生 追悼演奏会

2014 **11.16** (日)

14時開演 (13時30分開場)

京都コンサートホール(小)

主催 スズキメソード京都



江村 孝哉

昨年、コンチエルティエーノ・ディ・キョウトは
記念すべき 55 周年を迎えました。

しかし同時に、記念演奏会の1ヶ月後、当合奏団
の創立者、メンバーのバイオリンの師である、新
井覚先生を失いました。

新井先生は、スズキ・メソードのバイオリン指導者として、京都に赴任されて以来、子ども達のバイオリン教育を推進されると同時に、上級生によるアンサンブルに情熱を傾けてこられました。

本日のコンサートの前半は、現役メンバーによる演奏で、先生の情熱が継承されている姿を見て頂きたいと思います。後半は、先生の情熱に育てられた OB・OG に加わっていただき、新井クラス初期の OB 大山平一郎先生を指揮に迎えて、ドボルザークの弦楽セレナーデを演奏します。新井先生が京都にまかれた種が、結実している姿を、先生は喜んで下さっていることと思います。

江村孝哉

プログラム

バッハ	フーガ ヘ短調 BWV537a
バッハ	ヴァイオリン協奏曲 ト短調 BWV1056R 独奏 田崎 祐成
モーツァルト	ディベルティメント ヘ長調 K.138 指揮 江村 孝哉 コンチエルティエーノ・ディ・キョウト

∞

ドヴォルザーク	弦楽セレナーデ ホ長調 作品 22 指揮 大山平一郎 コンチエルティエーノ メモリアルオーケストラ
---------	--



大山 平一郎

何十年と御無沙汰していた先生と再会できたのが、僅か数年前。近い内にまたお会いできれば、とお約束をしてお別れしたのに…。あんなにお元気だったのに。それも生き活きと…。

先生にお世話になったのは、私が五歳の頃から数年間でしたが、先生の事はおぼろげながらも、いくつか記憶に残っております。足の骨を折った時には、さすがにレッスンに行かなくても良いだろうと内心喜んでいた私に、“手の骨を折った訳ではないのだから、座ってでも良いからレッスンをしましょう”との伝言。実際、先生の前で足を放り出してペタリ座って弾き出した途端、弓が畳に当たると、“いつも言っているようにヴァイオリンを上げないと！ひょっとしたら、このお蔭で平ちゃんの弾く姿勢が良くなるかもしれないな”と。そして合宿では、集中した良い練習をすれば、“達成感”を感じられる体験をさせていただきました。幼心には、先生のお言葉の裏にあるもう一步踏み込んだ意図を理解することは到底できなかったにしろ、いつも温かく、丁寧に、事細かく御教授いただきました。

戦後日本を覆った灰色の時代に、先生からこのような精神修行を、小学校入学前から教えていただいていた事を思いますと、今日このようにして演奏家としての自分があるのも、先生の教えが私の精神基盤になっているのだと痛感しております。本当に感謝申し上げます。

合掌

大山平一郎

京都生まれ。新井覚氏、東儀祐二氏にヴァイオリンを師事。後に桐朋学園で江藤俊哉、鷺見三郎、齋藤秀雄各氏に師事。英国ギルドホール音楽学校を卒業。その後米国インディアナ大学でヴァイオリンとヴィオラの研鑽を積む。インディアナ大学コンクールでは、ヴァイオリン、ヴィオラ両部門で同時優勝を果す。1970、80年代はヴィオリスト、室内楽奏者として活躍し、マールボロ、カザルスなど著名な音楽祭や、ギドン・クレーメル、ラドゥ・ルプー、アイザック・スターン、ピンカス・ズッカマンらと共演。1979年から1991年まで、ロサンゼルス交響楽団の首席ヴィオラ奏者を務め、音楽監督だったカルロ・マリア・ジュリーニから指揮への進出を勧められ、1987年アンドレ・プレヴィンより同楽団の副指揮者に任命される。その後欧米各地のオーケストラを指揮。日本では1991年に京都市交響楽団を指揮してデビュー。1973年から30年間、カリフォルニア大学教授も歴任。1999年から2004年まで九州交響楽団常任指揮者、2004～2008年・大阪交響楽団の首席指揮者、2007～2009年・ながさき音楽祭の音楽監督を歴任。2005年に福岡市文化賞を受賞。2008年に文化庁の芸術祭優秀賞を受賞。2014年に米国サンタ・バーバラ市から文化功労賞を受賞。現在、米国サンタ・バーバラ室内管弦楽団・音楽監督。チャンネル・ピグマリオン・デイズ室内楽シリーズ、アーティスティック・ディレクター。"Music Dialogue" 代表。

コンチェルティーノ・ディ・キョウト メモリアルオーケストラ

VIOLIN

田崎 祐成*
林田 菜月*
内田 大貴*
吉村 真綾*
佐野颯太郎*
新開つぼみ*
守田 乙葉*

朝山 玲子
石田 悠
市村 碧里
糸井佐知子
上田 彩希
上田 真希
内田 都加
清水 円
妹尾 俊吾
田中 敬子
田中 信介
中村 亜季
中村 克敏
南部 史
西村 愛
福永 祥子
村上佐知子
山本 佳奈
佐々木めぐみ

VIOLA

井狩 苑子
田中 春美
田原 明子
成宮 憲一
松村裕美子
江村 孝哉
江村美由紀
仲佐 悦子

CELLO

田村 忠司
中井 敏雄
米原 徹
森田 健二

BASS

野々口真実♪
宮澤 由佳♪

* = 現役メンバー

♪ = 客演

新井 覚 先生 略歴

- 1932年(昭和7年) : 1月15日長野県飯田市に生まれる
- 1944年(昭和19年) : 松本市に移転、鈴木鎮一先生に師事
長野県師範学校附属国民学校 入学(12歳)
- 1946年(昭和21年) : 松本音楽院 入学(14歳)
- 1952年(昭和27年) : 松本深志高校卒業(第4期生)
京都支部指導者を任せられる(20歳)
- 1959年(昭和34年) : 才能教育研究会京都支部弦楽団 誕生
(=現 コンチェルティーノ・ディ・キョウト)
11月20日祇園会館 第1回演奏会(27歳)
- 1961年(昭和36年) : 10周年記念発表会(29歳)
- 1970年(昭和45年) : 万博の国連デーに生徒を引率して参加(38歳)
- 1971年(昭和46年) : 20周年記念講演会(講師:多胡輝・井深大)(39歳)
- 1973年(昭和48年) : ルイ・モイーズと共演(41歳)
- 1976年(昭和51年) : ウィリアム・プリムローズと初共演(43歳)
(1978年、1980年)
- 1979年(昭和54年) : 林峰男と初共演(46歳)
(1986年、2008年)
- 1980年(昭和55年) : モーリス・ジャンドロンと共演(48歳)
- 1981年(昭和56年) : フェリックス・アーヨと初共演(49歳)
(1994年、2003年)
- 1983年(昭和58年) : 9月第1回東ドイツ演奏旅行(団長)(51歳)
(1985年10月第2回、1988年7月第3回)
- 1985年(昭和60年) : 第27回コンチェルティーノ演奏会より指揮者となる(53歳)
- 1988年(昭和63年) : 30周年記念OB演奏会(56歳)
- 1989年(平成元年) : 関西地区オーケストラの団長を務める(57歳)
- 1993年(平成5年) : 35周年記念OB演奏会(61歳)
- 2003年(平成15年) : 全国5都市でフェリックス・アーヨと各都市のスズキメソード生徒による
演奏会を実施(京都は第45回演奏会、更に横浜ではリサイタルを開催)
- 2008年(平成20年) : コンチェルティーノ50周年記念演奏会(76歳)
以降の指揮を江村孝哉に任せ、Bクラスの指導にあたる
- 2013年(平成25年) : 12月26日永眠(81歳)



第12回コンチェルティーノ演奏会



1954年 京都支部発表会



20歳代 若い!!



弾いてます

弦楽合奏の夕べ

才能教育研究会 京都支部発表会

才能教育研究会 京都支部発表会による

11月20日(金) 7時

於 祇園会館

入場券 A・150円(前定席)
B・120円(前売100円)

十字屋新報社・発行 各
プレイガイド・祇園会館で販売中

第1回コンチェルティーノ チラシ



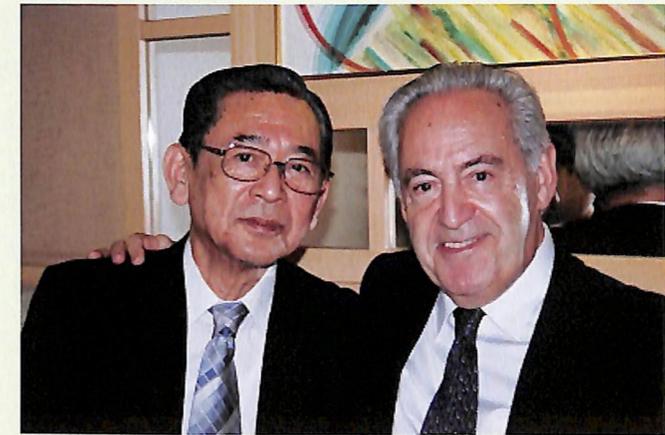
レッスン風景



東ドイツ演奏旅行



Bクラスで最後の指揮



フェリックス・アーヨ氏と



東ドイツ演奏旅行



コンチェルティーノ 50周年記念演奏会 (江村・新井・井手)



スズキメソード京都